

公立学校情報機器整備事業計画

習志野市教育委員会

令和6年6月

【別紙 1】

千葉県公立学校情報機器整備事業計画

千葉県教育委員会

端末整備・更新計画

(1) 端末整備予定数

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度
① 児童生徒数	12976 名	13095 名	13128 名	12876 名	12632 名
② 予備機を含む 整備上限台数	0 台	15059 台	2002 台	1712 台	1432 台
③ 整備台数 (予備機除く)	0 台	13095 台	0 台	0 台	0 台
④ ③のうち基金 事業によるもの	0 台	13095 台	0 台	0 台	0 台
⑤ 累積更新率	0%	100%	100%	100%	100%
⑥ 予備機整備台数	0 台	718 台	0 台	0 台	0 台
⑦ ⑥のうち基金 事業によるもの	0 台	718 台	0 台	0 台	0 台
⑧ 予備機整備率	0%	5%	0%	0%	0%

(端末の整備・更新の考え方)

令和 2 年度に導入した端末機器について耐用年数が経過したものを更新する。

(更新対象端末のリユース、リサイクル、処分について)

○対象台数：15441 台

○処分方法

・資源有効利用促進法の製造事業者により再使用・再資源化を委託 15441 台

○端末データの消去方法 ※いずれかに丸をする。

・自治体職員が行う

・処分事業者へ委託する。

○スケジュール (予定)

令和 7 年度

令和 8 年 4 月 新規購入端末の使用開始

令和 8 年 10 月 処分業者選定

令和 9 年 3 月 使用済端末の事業者への引き渡し

2 ネットワーク整備計画

1 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

ネットワークアセスメント実施中

2 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（1）ネットワークアセスメントによる課題特定スケジュール

5月20日～5月31日 一校目現地調査

6月10日～6月17日 二校目現地調査

7月1日 調査報告

（2）ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

調査報告を受けた後検討

（3）ネットワークアセスメントの実施により既にすべき課題が明らかになっている場合には、当該課題の解決方法と実施スケジュール

3 校務DX計画

○提言

- ・「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」（令和5年3月）
- ・「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策（提言）
～教師の専門性の向上と持続可能な教育環境の構築を目指して～」
（令和5年8月中央教育審議会初等中等教育分科会質の高い教師の確保特別部会）

○チェックリスト

- ・「GIGA スクール構想の下での校務DX化チェックリスト」（令和5年9月）

【GIGA スクール構想の下での校務DX化チェックリスト自己点検結果（学校設置者）】

1. 教育委員会所管の業務のデジタル化

No.	項 目（課 題）	対 策
①	教職員に外部ともやり取り可能な校務用の個人メールアドレスを附与していますか【付与していない】	Microsoft 365を利用しているので、職員個人にアカウントが附与できるようにする。
②	教育委員会に学校と同様のクラウド環境を整備していますか【一部整備している】	令和6年度、校務用端末を教育委員会にも複数配置し、指導主事にアカウントを持たせて、教育委員会と学校とのネットワーク環境を整える。
③	教育委員会の指導主事に GIGA 端末を支給していますか【一部支給している】	
④	教育委員会主催の研修で端末利用・持ち込みを基本とし、クラウドサービスを活用していますか【端末利用を基本としている】	研修用のキッティングした端末と教職員に担当したアカウントを用いて、研修を行っている。
⑤	教育委員会主催の研修について、オンデマンド視聴を取り入れていますか【取り入れている】	対面型とオンデマンド視聴の両方を使って研修を行っている。
⑥	教育委員会主催の研修アンケート等でクラウドサービスを用いて実施・集計していますか【実施・集計している】	Forms を活用している。
⑦	教育委員会から学校及び教職員へのお知らせや相互の情報共有等でクラウドサービスを用いて行っていますか【行っている】	メール機能や Teams を用いて情報共有している。
⑧	教育委員会が学校に発信する通知や調査でクラウドサービス等を用いて共有、実施、集計していますか【行っていない】	令和6年度、校務支援システムを活用して、共有、実施、集計する計画を立てている。
⑨	学校との各種事務手続きをペーパーレス化していますか【行っていない】	令和6年度、校務支援システムを活用して、共有、実施、集計する計画を立てている。
⑩	教育委員会主催の研修について、資料をクラウド上にアップロードしいつでも参照	市内共有フォルダや Teams を活用して、資料をアップロードしている。

	できる環境としていますか【行っている】	
⑪	教職員が校務用の端末を校外においてクラウドベースで利用できる環境を整えていますか【整えていない】	今後検討していく。
⑫	教育委員会主催の研修をハイブリッド（対面・オンライン）で実施していますか【実施している】	令和7年度も継続していく。
⑬	クラウド環境を校外で使用した際の適切な勤怠管理・勤務時間管理の仕組みを整えていますか【整えていない】	テレワークについて今後検討していく。

2. 次世代の校務デジタルに向けた環境整備

No.	項 目（課 題）	対 策
①	統合型校務支援システムを導入していますか【導入している】	令和7年度も継続する。
②	校務支援システムの導入又は次期更改において、ネットワーク統合と汎用のクラウドツールの活用を前提とした、パブリッククラウド上で運用できる次世代型校務支援システムの導入を検討していますか【検討していない】	今後検討していく。

3. その他

No.	項 目	対 策
①	学校や教職員からフィルタリングに関する要望があったときに柔軟に反映する仕組みや体制を整えていますか【整えている】	シスコアンブレラによって、ジャンルや、要望があったドメイン名による制御を都度行えるようにしている。
②	自治体のセキュリティポリシーとは別に、教育情報セキュリティポリシーを教育委員会独自に策定していますか【策定している】	内容についても今後検討していく。
③	自治体の文書管理規程等で、教育に関わる公文書のデジタル化に関する規程を定めていますか【定めていない】	令和6年度に定めるよう計画している。

【GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト自己点検結果（学校）】

1. 教員と保護者間の連絡のデジタル化

No.	項 目	対 策
①	学校徴収金について、現金徴収ではなく、口座振替、インターネットバンキング等を活用して徴収金の徴収を行っていますか【行っている】	令和7年度も継続する。
②	児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受け付け、学校内で集計してい	令和7年度も、学校保護者連絡機能を活用していく。

	ますか【集計している】	
③	保護者への調査・アンケート等でクラウドサービスを用いて実施・集計していますか【集計している】	Forms を活用して集計している。
④	学校から保護者へ発信するお便り・配布物でクラウドサービスを用いて一斉配信していますか【配信している】	学校保護者連絡機能を活用して一斉配信している。
⑤	業務時間外の保護者からの問い合わせや連絡事項について、クラウドサービス等を用い、PC・モバイル端末等から受け付ける体制を整えていますか【整えている】	学校保護者連絡機能を活用して受け付けられる体制を整えている。
⑥	保護者から学校への提出資料でクラウドサービスを用い、受け付けていますか【受け付けている】	Forms を活用して提出資料を作成している。
⑦	保護者との日程調整でクラウドサービスを用いて行っていますか【行っている】	Forms を活用して、面談等の日程調整を行っている。
⑧	学校説明会や保護者面談などにオンライン形式を取り入れていますか【取り入れている】	対面式と併用して行っている。

2. 教員と児童生徒間の連絡等のデジタル化

No.	項 目	対 策
①	児童生徒への調査・アンケート等でクラウドサービスを用いて実施・集計していますか【実施・集計している】	学習 e ポータルの機能を活用している。
②	クラウドサービス等を活用し、授業中の小テスト等に CBT を取り入れていますか【一部取り入れている】	Forms により活用されている事例がある。活用が進むよう、計画する。
③	児童生徒一人一人に配備された PC・タブレットなどの端末を、家庭で利用できるようにしていますか【している】	Wifi 環境がある家庭では自宅の電波から、Wifi 環境がない家庭には無線ルーターを貸し出せるよう準備している。
④	児童生徒への各種連絡でクラウドサービスを用いて配信していますか【配信している】	Teams を活用して、連絡黒板の内容等を共有している。
⑤	宿題（学期中のもの）をクラウドサービスやデジタルドリル教材を用いて実施・採点していますか【一部実施・採点している】	活用が更に進むよう検討していく。
⑥	宿題（長期休暇中）をクラウドサービスやデジタルドリル教材を用いて実施・採点していますか【一部している】	活用が更に進むよう検討していく。
⑦	クラウドサービス等を活用し、定期テストに CBT を取り入れていますか【取り入っていない】	今後検討していく。

3. 学校内の連絡のデジタル化

No.	項 目	対 策
①	教員は校務用の個人メールアドレスが付与されていますか【付与していない】	今後検討していく。
②	職員間の情報共有や連絡にクラウドサービスを取り入れていますか【取り入れていない】	校務支援システムおよび学習 e ポータル、Teams を活用していくよう検討していく。
③	職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化していますか【一部している】	全校で行えるよう検討していく。
④	教職員への調査・アンケート等でクラウドサービスを用いて実施・集計していますか【実施している】	Forms を活用している。
⑤	校内研修について、オンデマンド視聴を取り入れていますか【取り入れていない】	対面型を基本にしている。今後取り入れていくよう検討する。
⑥	授業研究会や校内研修等での協議にクラウドサービスを用いていますか【取り入れていない】	Office365 の機能等を活用し、今後取り入れていくよう検討していく。
⑦	教職員が作成した教材等をクラウド上で共有し活用していますか【一部している】	今後、Teams 等を活用していく。
⑧	職員会議等における検討事項について、クラウドサービスを用いて事前に情報共有し、あらかじめ意見を求めていますか【一部している】	全校で行えるよう検討していく。
⑨	長期休暇期間（夏休み等）の教職員の動静調査でクラウドサービスを用いて実施・管理していますか【実施・管理していない】	動静表を紙ベースで管理しているため、校務支援システムまたは Office365 を活用できるよう検討していく。
⑩	校内外の行事日程、施設や特別教室の利用予約等について、クラウドサービスを使って共有し、いつでも確認できるようにしていますか【していない】	校務支援システムまたは Office365 の機能等を活用し、今後取り入れていくよう検討していく。
⑪	教職員から学校へ提出する事務手続き資料でクラウドサービスを用い、受け付けていますか【受け付けていない】	紙ベースで行っているため、校務支援システムもしくは Office365 を活用できるよう検討していく。
⑫	授業研究会や校内研修等をハイブリッド（対面・オンライン）で実施していますか【実施していない】	実施できるよう検討していく。
⑬	学校から教職員に紙で提出を求めている書類はありますか【ある】	校務支援システムもしくは Office365 を活用できるよう検討していく。
⑭	職員会議等をハイブリッド（対面・オンライン）で実施していますか	オンラインでも実施できるよう検討していく。

	【対面のみ実施している】	
--	--------------	--

4. その他

No.	項 目	対 策
①	学級・学校経営に有効な教育データ等が、必要な職位に応じてアクセス権限が設定されるとともに、活用しやすいように整理され、閲覧できますか【閲覧できない】	市内共有フォルダおよび Teams を活用していくよう検討する。
②	1人1台端末のパスワードについて、教職員が把握し一括で管理するのではなく、児童生徒に管理を任せていますか【任せている】	今後も継続していく。
③	保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類はありますか【ある】	通知表等、一部運用しているため、改めるよう検討していく。
④	業務に FAX を使用していますか【使用している】	FAX を使用しない方法について今後検討していく。
⑤	「初等中等教育段階における生成 AI の利用に関する暫定的なガイドライン」に基づき生成 AI を校務で活用していますか【活用していない】	活用について今後検討していく。

4 1人1台端末の利活用に係る計画

(1) 1人1台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

※1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワーク等を通じて実現を目指す学びの姿を記載する。

ICT 環境において実現を目指す小中学校の学びの姿は、情報教育を中心に据え、生徒たちが情報の取捨選択やデジタルスキルを磨く環境を整備する。プログラミングや情報リテラシーを基盤とした授業が展開され、デジタルツールを活かした創造的な学習が進むことで、生徒たちは問題解決力や発想力を養う。オンライン学習プラットフォームや協働ツールを活用し、生徒たちが時空を超えて共同で学び、情報を共有できるようなコミュニティを築く。データ分析や AI を活用して教育効果を評価し、調整することで、効果的な情報教育を実現する。これにより、未来の社会で必要な情報活用能力を身につけ、グローバルな競争社会に適応できる教育環境を整備する。

(2) GIGA 第1期の総括

令和3年度から1人1台端末を導入し、教室での活用やオンライン授業ができる環境を整備してきた。小中学校での活用も進んできてはいるが、一斉授業のスタイルからは抜け出せていないことが課題である。

校務支援システムについても令和5年度から変更し、取組を進めているが、現在でも操作方法の習慣化が定着できず効率化に至っていない。働き方改革の観点からも、今後既存のシステムを活用して、勤務時間の縮減に努めていきたい。

セカンド GIGA の導入にあたって、情報活用能力のさらなる育成を目指し市内の小中学校に指導していく。市内で活用の進んでいる学校を研究指定校として、教材の共有化や授業のアーカイブ化を図り、活用に周知している教員を ICT マイスターとして各学校へ講師として派遣する取組も継続する予定である。

(3) 1人1台端末の利活用方策

「教育DXに係る当面のKPI」に示しているKPIにもとづく現状と目標

項目	KPI	現状値(R6年度)	目標値(R8年度)
1人1台端末の整備	指導者用端末整備済みの率	100%	100%
	1人1台端末を常時活用ができるよう、十分な予備機を整備しているか。	100%	100%
ネットワークの改善	無線LAN又は移動通信システムによりインターネット接続を行う普及教室の率	100%	100%
	端末利用に係る回線の速度を計測・把握した学校の率	100%	100%
	課題のある学校についてアセスメントを実施済みの学校の率	調査中	
	必要なネットワーク速度を確保済みの学校の率	100%	100%
校務のデジタル化	FAXでのやり取り・押印を原則廃止した学校の率	17%	50%
	校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業を一掃した学校の率	100%	100%
	クラウド環境を活用した校務DXを積極的に推進している学校の率	100%	100%
	次世代の校務システムの導入に向けた検討を行う学校の率	100%	100%
1人1台端末の積極的活用	毎年度ICT研修を受講する教員の率	100%	100%
	情報通信技術支援員(ICT支援員)の配置	100%	来年度の採用について未定
	1人1台端末を週3回以上活用する学校の率	22%	100%
	デジタル教科書を実践的に活用している学校の率	49%	80%
個別最適・協働的な学びの充実	児童生徒が自分で調べる場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	44%	80%
	児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	23%	80%
	教職員と児童生徒がやりとり	22%	80%

	する場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率		
	児童生徒同士がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	15%	80%
	児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	39%	80%
学びの保障	希望する不登校児童生徒へ端末を活用した授業への参加・視聴の機会を提供している学校の率	100%	100%
	希望する児童生徒への端末を活用した教育相談を実施している学校の率	100%	100%
	外国人児童生徒に対する学習活動等の支援に端末を活用している学校の率	100%	100%
	障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じて端末を活用した支援を実施している学校の率	100%	100%